



新しくなった御本殿

正遷座祭を迎えるにあたって

いぶやの社もり

第13号

令和7年1月

揖夜神社  
総代会

揖夜神社  
ホームページ



<https://iya-jinja.jp/>



宮司  
井上 眞澄



禰宜  
井上 智澄

年頭にあたり謹んで国の隆昌と皇室の弥栄、氏子の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

本年五月十七日、正遷座祭を齋行する運びとなりましたことは、氏子、地元企業、町内外の多くの崇敬者のご信仰と御造営委員会のご尽力の賜物と感謝しております。

また、正遷座祭に出雲国造千家様・北島様のご来臨の栄を賜ることは誠に名譽なことと、滞りなく齋行出来ますよう準備に邁進しているところでございます。令和の正遷座祭が次の世代の心に残るものとなりますよう引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

私が初めて正遷座祭に立ち会えたのは三十年位前の高校一年生の頃でした。祖父（英澄）も元気で、当時私は神職としての資格はありませんでしたが、三代揃ってその場に立ち会えた頃のことをおぼろげに思い出します。当時の、装束を着ている自分の写真を見る機会が最近あり、指導していただいたことや緊張をほぐしてもらったことなどを思い出し、支えられていたなあと感じました。

令和七年五月に正遷座祭を迎えるにあたり、多くの方々のお力添え、ご支援に深く感謝し、正遷座祭齋行にあたり尽力してまいります。

謹賀新年

本年もよろしく  
お願いいたします

責任役員

宮司	井上 眞澄
禰宜	井上 智澄
権禰宜	宮川 眞臣
井上	弘良
寺岡	悠馬

永島 清孝	越野 伸夫	岩谷 英樹	新見 光男	若林 健一	岡田 正人
-------	-------	-------	-------	-------	-------

総代会 会長	永島 清孝
奉賛会 会長	永島 清孝
敬神婦人会 会長	須山 紘美
氏子青年会 会長	永島 一雄
いざなみ会 会長	吉儀 明弘



# 揖夜神社 正遷座祭 齋行

揖夜神社御造営委員会

委員長 永島 清孝



謹んで新年のお慶びを申し上げます。新しい年を迎えられ、皆様におかれましては清々しい気持ちで神社に参拝され、健康と平和な暮らしに感謝し、今年も元気に過ごせますようお願いされることと思えます。

さて、いよいよ今年の五月十七日には正遷座祭が斎行されます。今回の遷宮を計画してから約十年が経過しました。この間、新型コロナウイルス感染症の蔓延や物価高騰などにより大変厳しい環境ではありましたが、多くの氏子・崇敬者の皆様から心のこもったご寄付を賜り、心より感謝申し上げます。この度の遷宮では、本殿・末社・

玉垣・随神門・手水舎等の改修工事並びに樹木伐採等の境内整備や神社の宝物や古文書などの確認とデータ化、額物等の修復なども行いました。

正遷座祭は、下記の欄にご案内しております次第で行われます。夕方からは厳かな雰囲気の中、古式ゆかしく神事が始まり、『御動座』では、神様が仮殿（神楽殿）から新しくなった本殿へお還りになります。当社は、昔から出雲大社とは大変縁の深い神社で正遷座祭には、千家・北島 両国造が参向されます。そして翌日には、遷宮をお祝いする奉祝祭を執り行ないますので、是非ご参拝頂きますようお願い申し上げます。最後に、皆様がこの御造営で新たなお力を蓄えられた神様の御神徳を授けられ、益々ご健勝で幸せになられますようご祈念申し上げます。

## 正遷座祭 次第 令和七年五月十七日（土）

九時〇〇分 奉納餅行列  
・中町交差点を出発

十三時十五分 参進  
・宮司以下祭員 御造営委員会役員

十三時三十分 大殿祭  
・宮殿に災害のないように、祈り鎮める儀式

十四時〇〇分 上棟祭  
・大工遷宮

十五時〇〇分 撒餅の儀  
・神様と氏子の方々の絆を深める大切な儀式

十八時〇〇分 湯立神事  
・「祓い」と「禊」をあわせもつ最高の清めの神事

十八時四〇分 仮殿祭  
・神様に本殿へお還りいただくようお願いする神事

十九時一〇分 召立  
・威儀物を奉持者に告げる神事

十九時四十分 御動座  
・神様が仮殿から本殿へお還りになる神事

二十時〇〇分 本殿鎮座祭  
・神様に新しい本殿に御鎮座いただく神事

二十時四〇分 千秋万歳楽  
・遷宮終了 宮司挨拶

## 奉祝祭 次第 令和七年五月十八日（日）

十三時三〇分 火縄銃奉納演舞  
（松江城鉄砲隊）

十四時〇〇分 奉納神楽一回目  
（貴船神楽社中）

十四時四五分 奉納太鼓  
（東出雲太鼓夢玄）

十五時二〇分 奉納神楽二回目  
（貴船神楽社中）

十六時三十分 奉祝祭

奉祝祭は、遷宮を謹んでお祝いするお祭りです。どうぞご参拝ください。

穂掛祭・一ツ石神幸祭

令和六年八月二十八日(月)に穂掛祭と一ツ石神幸祭が斎行されました。

当日は朝から下意東港で、前日に西市場地区の方に用意していただいた幟旗や日章旗で船飾りを行い、午後の祭りの準備をしました。

数日前から台風一〇号が九州付近で停滞しており、祭りの当日に最接近するとの予報で心配しましたが、幸いにも予想進路から外れました。しかし午後になって風が強まり、供船が来ることができず、御座船だけで一ツ石神域の近くまで行っ



神事を終えました。

夜の陸行列は各町内からの提灯行列に三菱マヒンドラ農機・舫会の行列も加わり賑やかに実施することができました。参加者は約二万人でした。

例祭

十月十九日(土)に例祭が斎行されました。

前日には奉賛会による準備作業が行われました。当日はあいにくの雨模様となり、いつときは雨脚が強まりましたが、皆様のご協力により無事に祭典を終えることができました。

境内では、揖屋小学校児童による書道・絵画展、町内愛好者等作品展、奉納品・愛好者作品の投票や子供向け当てくじが、拝殿では東出雲剣道会によつて「木刀による剣道基本技稽古法」の形奉納などが行われました。雨の中、多くの方が参拝されました。



拝殿のしめ縄が新しくなりました

今回の遷宮にあたり拝殿の大しめ縄を取り換えることにし、出雲大社の大しめ縄を制作している「飯南町注連縄企業組合」に依頼しました。

令和六年八月二十四日に総代十一名の参加で取り付け作業を行いました。古いしめ縄は、クレーンで下した後で解体し小さくしてから、官山におさめました。

このしめ縄は、専用の品種である「赤穂餅」の稲わらあかほもちが使用され、全長五メートル、径七十cm、重量約二百五十kgに及ぶ立派なしめ縄です。これにより揖夜神社の新しい顔として遷宮を迎える準備が整いました。



### 本殿屋根見学会

令和六年十月二十七日、本殿屋根の見学会を行い、五十二名の参加がありました。

最初に拝殿でビデオを見ながら屋根工事の工程について説明を受けた後、狭い工所用足場を七メートル昇りました。最上階に着くと総重量約一トンもある金色に輝く鬼板・千木・鯉木が現れ、その大きさと美しさに驚き、屋根は吉野杉を使ったとち葺きという工法で綺麗に葺き替えられ、匠の技の見事さに感心しました。



### 本殿新築上棟祭の棟札発見

令和六年五月、本殿天井裏の掃除及び修繕を実施した際に、本殿新築の棟札(昭和八年六月八日上棟祭執行)を発見しました。

これまで不明であった本殿の新築時期は、今回の遷宮にあたっての各種調査の中で発見した山陰新聞(現・山陰中央新報)記事により、昭和九年五月五日に新築の正遷座祭が執行されたことが判明しました。

棟札は、これを実証する大変貴重なものです。

昭和八年六月八日上棟祭執行

社司井上為若  
社掌井上護



### 本殿壁画 見学会の御案内

本殿内には、極彩色の壁画と八雲の天井絵が描かれています。遷宮で神様が本殿にお還りになる前に見学会を開催いたします。

開催日 令和七年三月三十日(日)

時間 午前十時〜十二時

対象者 氏子様限定です

服装 質素な服装でお願いします

※本殿入口からの拝観となります

(本殿内には入れません)

※写真撮影は出来ません

申込二月末までに左記にお願いします

岡田正人(090-1685-5926)

永島敬司(090-5269-7278)

### 古礼のお焚き上げについて

旧年の御神札とお守りは、十二月十五日から一月十二日までの間、社務所玄關脇と拝殿前に納付箱を設置しますので、ご参拝の折にお納めください。一月十三日に境内でお焚き上げを行います。

**お納めは御神札とお守りのみ**で正月飾りや注連縄、お寺のお札などは対処できませんので、市報松江十二月号の「年末年始のお知らせ」によりご対応下さい。



「一年の計は元旦にあり」と言われます。新しい年を迎えて、旧年中神様にお守りいただいた事に感謝し、「これから一年、この世の中と家族皆が幸多い年でありますように」と神社にお参りするのが初詣です。

まずは、氏神様である揖夜神社へお参りして感謝と祈りのまごころを捧げましょう。

次回の「いぶやの杜」は、正遷座祭のためお休みとします。次号は令和八年一月に正遷座祭特集号を予定しています。